

# 石狩紅葉山49号遺跡を活用した小・中学校における 出張授業・出張展示の実施について

Teaching classes by the curator and placing exhibitions  
at elementary school and junior-high school

—Utilizing the artifacts from *Ishikari Momijiyama No.49* archeological site

荒山 千恵\*

Chie ARAYAMA\*

**キーワード：**石狩紅葉山49号遺跡，縄文文化，小・中学校，出張授業，出張展示

## 1. はじめに

いしかり砂丘の風資料館では，石狩市花川にある石狩紅葉山49号遺跡（石狩市教育委員会，2005）を活用した資料館テーマ展や講座を継続的に開催している．平成26年度は，従来の展示（いしかり砂丘の風資料館における常設展・テーマ展，館外ミニ展示）や講座（体験講座，講演会），学校の社会科見学による来館対応に加えて，小・中学校を会場とした出張授業および出張展示を実施した．開催校は，石狩市立花川北中学校，石狩市立紅南小学校においてである．

### （1）目的

出張授業・出張展示を実施する目的は，身近に遺跡があることを知り，地域の歴史に興味・関心を深めてもらうためである．授業のテーマは，「石狩紅葉山49号遺跡から縄文文化を学ぶ」とし，石狩紅葉山49号遺跡を通して，縄文時代中期後半頃（約4000年前）の人々の暮らしと道具について学ぶ機会とした．

### （2）背景—石狩紅葉山49号遺跡を選定する理由 石狩紅葉山49号遺跡は，石狩市花川に位置する

遺跡である．立地は紅葉山砂丘の内陸側斜面から低湿地部に渡っており，当時の発寒川の畔に位置する．この遺跡では，縄文時代前期後半から中期後半，続縄文時代初頭，擦文時代初頭，江戸時代後期の各時期の遺物が出土した．とくに，湿地部では縄文時代中期の河川跡がみつきり，その中から当時の魚捕獲用施設や木製の生活用具など，当時の川と人とのかわりを知る道具が発見された．縄文時代の河川漁の捕獲用施設が形を留めて残されていた遺跡は日本の中でも数少なく，木製の生活用具と合わせて大変稀少な出土例となっている．一方，発掘調査が行われた最終年度（平成14年）から12年目を迎え，市内の児童・生徒が身近にある石狩紅葉山49号遺跡のことを知る機会は少なくなっている．このような経緯から，地域の埋蔵文化財を活用したふるさと学習の一つとして，資料館展示や講座に加えて，この遺跡を活用した小・中学校での出張授業および出張展示を実施するに至った．

## 2. 出張授業・出張展示のねらいと方法

今回は，出張授業を中心として，出張展示（パネル展）を授業の相乗的な学習の機会となるよう

\* いしかり砂丘の風資料館 〒061-3372 北海道石狩市弁天町30-4

日程を合わせて開催した。

出張授業の実施に当たっては、いしかり砂丘の風資料館（以下、資料館と記す）の展示見学の場合と比較して、想定される学習効果の違いを考慮して授業計画を立てた。資料館見学の場合は、展示を通して実物資料や大型資料を見学できる点に最大のメリットがある。また、常設展示の内容は石狩にかかわる自然・歴史・文化によって構成されていることから、限られた時間の中で幅広く学ぶことができ、テーマに応じて内容を深めて学ぶこともできる。一方、学校を会場に実施する出張授業の場合は、資料をより間近に観察したり、触ったりすることで、児童・生徒がより主体的に学習することが可能となる。ただし、資料館の常設展示にみるような実物資料や大型資料を用いることは難しいことから、授業での観察に可能な資料を用い、さらに補助教材として復元製作品や模型等を活用することとした（写真1）。今回の授業では、小・中学校ともに1つの授業を講義編とワークショップ編に分けて構成し、とくに後者に時間配分を多く設定した。

授業の実施方法は、各学校の担当の先生のご協力のもと、学芸員（筆者）が指導者となり、花川北中学校の授業の際には石狩紅葉山49号遺跡の発掘調査総括者である石橋孝夫学芸員に、紅南小学校の授業では同遺跡の発掘作業に携われた加藤和子氏、菅原順子氏に参加していただき、児童・生徒のサポートをしていただいた。

授業・展示の内容は、指導要領および教科書を参照のうえ、実施する学年の学習内容に関連性をもてるよう工夫した。今回実施した中学校第1学年では、歴史における縄文文化の学習に、小学校第4学年では、昔の道具についての学習に応用的に活かせるようにした。

### 3. 授業の到達目標と学習展開

花川北中学校および紅南小学校において実施した授業では、「石狩紅葉山49号遺跡をとおりて、縄文時代中期の石狩における人々の暮らしや道具

について知ることができる」ことを到達目標とした。また、評価については、「①身近にある石狩紅葉山49号遺跡について知ることができたか。」

「②大昔の人々の暮らしに興味・関心をもって意欲的に学ぶことができたか。」「③石狩紅葉山49号遺跡を通して、縄文時代中期後半頃（約4000年前）の人々の河川漁や生活用具について、知ることができたか。」の3点を設定した。授業の到達目標は、今回実施した小・中学校において基本的には同じであるが、授業内容の専門性には違いがあり、対象学年に合わせた学習内容で実施した。

花川北中学校の授業は、第1学年の1組から3組までの各クラス（各50分）の教室で実施した（写真2-1）。実施日は平成26年8月26日である。学習展開については、表1に示したとおりである。まず、講義編において、石狩紅葉山49号遺跡の概要について紹介した。プレゼンテーションソフト（以下、パワーポイントと記す）を使用し、写真や図を示して遺跡の位置やどのようなものが出土したのかを説明した。遺跡の概要については、配布したワークシートの解説からも確認できるようにした（資料1）。講義編の中では、加えて「遺跡」、「縄文時代・縄文文化」、「縄文土器の名称の由来」等の用語についても解説した。また、資料観察の前に、資料の取り扱い方、観察方法、注意事項についても説明した。次に、ワークショップ編において、石狩紅葉山49号遺跡の出土品を中心とした縄文時代の道具を対象に、土器班と木製品班（1クラスにつき4班）に分かれて観察をおこなった。観察用資料については、実物資料（例：土器の破片資料）・複製品（例：木製品のレプリカ）・復元製作品（例：復元製作した縄文土器）・模型品（例：製作工程模型）を用意した。これらを各班で観察し、気が付いたことや不思議に思ったこと等を意見交換し、各自のワークシートにスケッチと共に書き出してもらった。観察後は、各班の代表者に観察した道具の紹介や気が付いたことについて発表してもらった。授業の最後には記述部分のワークシートを提出してもらい、後日、一言コメントを記して返却し

た。

紅南小学校の授業は、第4学年の1組および2組の各クラス（各45分）において理科室で実施した（写真3-1）。実施日は、平成26年9月19日である。学習展開については、表2に示したとおりである。まず、講義編において、石狩紅葉山49号遺跡の概要について紹介した。パワーポイントを使用し、紅南小学校グラウンドの道路を挟む南側辺りに49号遺跡があることや、この遺跡から出土した縄文時代の道具や暮らしについて、写真・図・イラストを用いて説明した。遺跡の概要については、配布したワークシートの解説からも確認できるようにした（資料2）。また、資料観察の前に、資料の取り扱い方、観察方法、注意事項についても説明した。次に、ワークショップ編において、土器班・石器班・木の道具班（1クラスにつき6班）に分かれて、班ごとに実物資料もしくは複製品、補助教材として復元製作品および模型品を用意し、観察してもらった。各班における児童の意見交換では、各班で資料を観察しながら気が付いたことを付箋に書き出して貼っていく観察用シートを使用した。この方法は、担当の先生との事前の打ち合わせの際にご提案いただいたものである。観察後は、各班の代表者に観察した道具の紹介や気が付いたことについて発表してもらった。授業の最後には、各自において気が付いたことや思ったことを記入したワークシートを提出してもらい、後日、一言コメントを記して返却した。

#### 4. 展示の方法と内容

出張展示は、授業を実施する日程に合わせ、学習内容の理解をより深めることを目的に実施した。

花川北中学校では、「縄文時代の木の道具―石狩紅葉山49号遺跡より」と題し、49号遺跡の特徴である木製品（木の道具）にテーマを絞った専門性のある内容構成とした（写真2-2）。展示期間は平成26年8月25日から8月28日迄である。展示

場所は授業を実施する生徒に見てもらうことを目的に、第1学年のクラスと同じ階にある教室内で実施した。展示方法は机を円形に配置し、その上にパネルを設置した。

紅南小学校では、「石狩紅葉山49号遺跡からみつかった縄文時代の暮らしと道具」と題し、縄文文化の暮らしや道具（土器、石器、木製品）を写真やイラストを用いて紹介する内容構成とした（写真3-2）。展示期間は平成26年9月15日から9月19日迄である。展示場所は玄関前ホールであり、授業を実施した学年以外の児童にも広く見てもらうことができた。展示方法は、大型の掲示用ボードを1周するように並べ、そこにパネルを掲示した。

#### 5. 実施の結果

児童・生徒から提出されたワークシートの記述から、授業の効果について確認する。

花川北中学校の授業で提出されたワークシートでは、観察した縄文時代の道具について、スケッチと共に観察して気が付いたことを記してもらった。それらの記述を見ると、例えば、木製品班では、「柄があるので水、液体がすくえる。」「一本の木から切りぬいて作るのはとても大変だったと思う。どうやってけずった？」等の記述が見られ、観察資料をとおして、縄文時代における木製品の製作技術や工具、使用方法について考えながら観察されていた。土器班では、「文様のつけ方、紐をころがしたり棒でおしたりしてつけている。」「作ってみたいと思った。」「なぜ模様をつけたのか不思議だと思った。」等の記述が見られ、縄文土器の特徴を捉えた観察ができていた。また、他の班が観察した道具の発表を含めて、「縄文時代に使われていた物をこんなにくわしく初めて知れた。もっとそういう道具を知りたいと思った。」という記述も見られた。授業の効果としては、縄文時代の道具について理解が深まったといえる。

紅南小学校の授業で提出されたワークシートを

見ると、例えば、土器班では、「紐でもようをつけていた。」「修理するための穴がある。」、石器班では、「石器はいろいろな形があり、いろいろなことに使われていました。」「石で作ってすごいと思った。」、木製品班では、「お皿を作るのは、機械がなかったから大変だなと思いました。」「等の記述が見られた。また、「4000年前に作られた物が残っていることはすごいことだと思う。」「石狩にこんな石器や土器があるなんておどろきました。」「こんなに近い所に遺跡があったのはびっくりしました。」「こういう遺跡を見てみるとぼくも遺跡を発掘したくなりました。」「等の記述もみられた。学校に近接して石狩紅葉山49号遺跡があることを知り、身近にある遺跡に興味・関心が高まったといえる。

出張授業における児童・生徒の様子、記入されたワークシートをとおして、授業の到達目標に設定した①～③（68ページ）については、概ね達成できたと考えている。班ごとに実施した遺物の観察では、児童・生徒が意欲的に道具の製作技術や使用方法について考え、当時の人々の生活の知恵や工夫について気が付いたことを述べたり、意見を交わしたりする様子が見られた。また、本遺跡の特色である、普通の遺跡では残りにくい木製品（木の道具）を教材資料に含めたことで、縄文時代の道具には、土器や石器と共に木製品があることを知ってもらうことができた。

## 6. 今後の課題と展望

最後に、博物館教育と学校教育との連携の一つとして、身近にある埋蔵文化財を活用した学習の場を今後も充実させていくために、課題と展望を整理する。

第1に、出張授業と出張展示（パネル展）の開催時期と場所についてである。花川北中学校では、出張授業の対象学年である第1学年の教室と同じ階にある教室を使用させていただき、授業は展示設営翌日に各クラスの教室でおこなった。対象学年の教室の近くで展示をおこなうことは、授

業と合わせて興味・関心を深められる点で相乗的な効果が期待できる方法である。また、紅南小学校では、正面玄関前にあるホールを使用させていただき、授業は展示期間の最終日におこなった。授業前にパネル展示を見てもらうことは、授業の際に予習的な効果が期待できる方法である。また、玄関前のホールにパネルを展示したことで、授業を実施した学年以外の児童にも関心をもつ機会になった。今後も、児童・生徒がより効果的に理解を深め、興味・関心を高められるよう、各学校のニーズに応じながら実施方法を工夫していきたい。

第2に、学校向け教材資料の開発についてである。資料館の常設展示に公開している資料は、安易に動かしたり触ったりすることの難しい場合が多い。したがって、学校向けに特化した資料を選定・開発していくことが求められる。その一つとして、児童・生徒が触ったり使用したりすることのできる復元製作品や模型等の補助教材を充実させることも大切である。

第3に、指導者側のスタッフについてである。今回は、考古学分野の学芸員である筆者が指導者となると共に、遺跡の発掘を担当された方々にも参加していただいた。実際に発掘された方々から説明を受ける児童・生徒の姿は意欲的であり、より興味・関心を高める契機となった。今後も、このような機会を大切にしていきたい。

以上、本稿では、平成26年度における石狩紅葉山49号遺跡を活用した小・中学校における出張授業・展示への取組についてまとめた。児童・生徒が記入したワークシートの中には、遺跡や発掘に関心を持ち、昔の道具についてもっと知りたい、遺跡に行ってみたいという声もあった。このような契機から、さらに興味を深めていく方法の一つとして、地域の資料館を活用することも伝えていきたい。

博物館が担う役割において「教育」の重要性が挙げられることは言うまでもなく、近年における日本の博物館教育の一つとして学校教育との連携の充実が求められている（守井、1997；若宮、

1998；大國，2008；竹内，2008；2012；寺島，2013など）。考古学分野の学芸員という立場から，資料館見学や出張授業・展示等の機会を通して，子どもたちが地域の歴史・文化に興味を深めていけるように，今後も取り組んでいきたい。

**謝辞：**出張授業・出張展示の開催にあたり，石狩市立花川北中学校，石狩市立紅南小学校の皆様には大変お世話になりました。花川北中学校の森正彦教頭先生，前野崇幸先生，紅南小学校の河村英俊教頭先生，佐藤直人先生，前多香織先生には，事前打合せや当日の授業進行等，多くのご協力を賜りました。石狩市教育委員会参事千葉則理氏には実施にあたり，ご助言を賜りました。出張授業の際には，当館学芸員の石橋孝夫氏，いしかり砂丘の風の会（ボランティア）の加藤和子氏，菅原順子氏にもご参加，ご協力いただきました。末筆ではございますが，心より御礼申し上げます。

### 引用文献

- 石狩市教育委員会，2005. 石狩紅葉山49号遺跡発掘調査報告書.
- 守井典子，1997. 博物館教育論. （大堀哲編）博物館学協定，東京堂出版. pp.129-153.
- 大國義一，2008. 学校教育と博物館. （全国大学博物館学講座協議会西日本部会編）新しい博物館学，芙蓉書房出版. pp.49-51.
- 竹内有理，2008. 博物館教育の実践② 地域連携とボランティア. （佐々木亨・亀井修・竹内有理）新訂 博物館経営・情報論，財団法人放送大学教育振興会. pp.165-177.
- 竹内有理，2012. 博物館教育の内容と方法. （大堀哲・水嶋英治編）博物館学Ⅱ—博物館展示論＊博物館教育論，学文社. pp.210-223.
- 寺島洋子，2013. 学校と博物館. （寺島洋子・大高幸編）博物館教育論，財団法人放送大学教育振興会. pp.130-145.
- 若宮広和，1998. 博物館教育と社会参加. （加藤有次・椎名仙卓編）博物館ハンドブック，雄山閣. pp.157-158.



1



2



3

1：石器、土器の破片資料。 2：石斧（柄は復元）。 3：模型（木製品、縄文土器）。

写真1. 出張授業に用いた資料の例。



1



2

1：観察後の発表の様子。 2：パネル展示の様子。

写真2. 石狩市立花川北中学校における出張授業・出張展示。



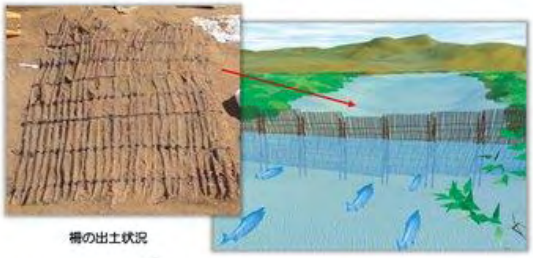
1



2

1：資料観察の様子。 2：パネル展示の様子。

写真3. 石狩市立紅南小学校における出張授業・出張展示。

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>ワークシート◎花川北中学校</p> <p>2014年8月26日(火)</p> <p>石狩紅葉山49号遺跡から縄文文化について学ぶ</p> <p>いしかり砂丘の風資料館<br/>学芸員 荒山 千恵</p> <p>1. この授業のねらい</p> <p>石狩紅葉山49号遺跡をとおして、大昔(縄文時代中期後半頃、約4000年前)の石狩に暮らした人々の道具や河川漁について学ぶ。</p> <p>☆遺跡とは</p> <p>☆縄文時代とは</p> <p>☆縄文時代中期後半頃(約4000年前)における石狩紅葉山49号遺跡の立地</p> <p>2. 石狩紅葉山49号遺跡とは</p> <p>石狩紅葉山49号遺跡は、紅葉山砂丘の南側の斜面から内陸側の湿地にかけてあります。湿地部からは、縄文時代中期の発寒川の跡がみつき、その中から、当時の人々が使っていた魚をとるしかけに用いた杭や柵、生活用具などが多数みつかりました。とくに木で作られた道具は残りにくいため、この遺跡から出土した木の道具は日本の中でも大変貴重です。</p> <p>いしかり砂丘の風資料館 1</p> |  <p>石狩紅葉山49号遺跡の位置</p> <p>3. 石狩紅葉山49号遺跡の様子</p> <p>(※パワーポイントにより遺跡の様子や遺物を写真で紹介します。)</p> <p>①川の跡からみつかった縄文時代の河川漁のしかけ</p>  <p>柵の出土状況</p> <p>サケなどを止めるための柵と考えられます (復元想定図)</p> <p>いしかり砂丘の風資料館 2</p> |
| <p>②石狩紅葉山49号遺跡から出土した縄文時代のさまざまな道具</p>  <p>土器 石器 木製品(木の道具)</p> <p>4. 石狩紅葉山49号遺跡から出土した縄文文化の遺物を観察する</p> <p>■土器・石器・木製品を観察する</p> <p>①何から作られていますか。</p> <p>②どのようにして作られていますか。</p> <p>③どのような形をしていますか。</p> <p>④主に何に使われたものと考えられますか。</p> <p>(私たちの生活の道具と比べると何に該当しますか。)</p> <p>(現在の道具と比べて、どのような違いがありますか。)</p> <p>■土器の文様を観察する</p> <p>⑤縄文土器にはどのような文様がありますか。</p> <p>⑥縄文土器の文様はどのような方法でつけているのでしょうか。</p> <p>いしかり砂丘の風資料館 3</p>   | <p>2014年 月 日</p> <p>年 組 名前</p> <p>石狩紅葉山49号遺跡から出土した約4000年前の石狩に暮らした縄文時代の人々の道具を観察し、気がついたこと、興味をもったこと、不思議に思ったことなどを書いてみましょう。</p> <p>◎スケッチ・観察メモ</p> <p>◎気がついたこと・興味をもったこと・不思議に思ったことなど</p> <p>いしかり砂丘の風資料館 4</p>                                                                                                                                                          |

資料1. 授業用のワークシート(花川北中学校、第1学年)。

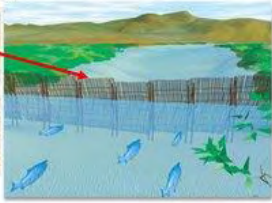
|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>紅南小学校ワークシート 2014 年 月 日 ( )</p> <p>名前 _____</p> <p>いしかりちみじやま いせき ぼん 石狩紅葉山49号遺跡について学ぶ</p> <p>1. この授業のねらい</p> <p>紅南小学校の近くにある石狩紅葉山49号遺跡をとおして、大昔（縄文時代中期後半頃、約4000年前）の石狩にいた人々の暮らしと道具について学びます。</p> <p>☆遺跡：昔の人の生活のあとのある場所。</p> <p>2. 石狩紅葉山49号遺跡とは</p> <p>いしかりちみじやま ぶどういせき 石狩紅葉山49号遺跡は、紅葉山砂丘の内陸側にあります。発掘して調べてみると、湿地の中から縄文時代中期の発寒川の跡がみつき、川の中からは縄文時代の人々が使っていた魚をとるしかけや暮らしの道具がたくさんみつかりました。とくに、この遺跡では木で作った道具がたくさんみつかりました。多くの遺跡ではくさってしまいい残りにくいため、日本の中でも貴重です。</p> <p>いしかり砂丘の風資料館 1</p>                                                                                                                                                                       |   <p>いしかりちみじやま ぶどういせき いち 石狩紅葉山49号遺跡の位置</p> <p>いしかり砂丘の風資料館 2</p>                                                                                                                         |
| <p>3. 石狩紅葉山49号遺跡からわかる縄文時代の暮らし</p> <p>(1) 川で魚をとるためのしかけ</p>   <p>左の写真 石狩紅葉山49号遺跡からみつかった魚をとるための<br/>右の絵 使い方のイメージ（サケをとるためのしかけ）</p> <p>(2) 暮らしの道具</p>    <p>縄文時代のさまざまな道具（左の写真から、土器・石器・木の道具）</p> <p>いしかり砂丘の風資料館 3</p> | <p>紅南小学校ワークシート 2014 年 月 日 ( )</p> <p>縄文時代の道具を観察する</p> <p>年 組 日 月</p> <p>名前 _____</p> <p>1. あなたが観察しているものはどれですか。○をつけましょう。</p> <p>① 土器<br/>② 石器<br/>③ 木の道具</p> <p>☆観察のポイント☆</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・何から作っていますか？</li> <li>・どんな形をしていますか？</li> <li>・何に使ったと思いますか？</li> </ul> <p>2. 授業をとおして、気がついたことや思ったことを自由に書いてみましょう。</p> <p>いしかり砂丘の風資料館 4</p> |

表1. 花川北中学校における授業展開.

| 生徒の活動                                                                                                                                                          | 指導者(学芸員)の活動                          | 備考                                  | 経過時間    |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------|-------------------------------------|---------|
| ☆授業の開始<br>・グループ(4班に分かれる)                                                                                                                                       | ・(自己紹介)                              | ・ワークシート配布                           | 経過: 5分  |
| 【講義編】<br>☆パワーポイントによる学習<br>①はじめに<br>・この授業のねらいと目標を理解する。<br>②石狩紅葉山49号遺跡とは<br>・遺跡の位置や時代を理解する。<br>・発掘当時の写真から遺跡の様子を理解する。特に、縄文時代中期(約4000年前)の河川漁に関わる遺構や遺物が出土したことを理解する。 | ①授業のねらいと目標を説明。<br>②パワーポイントで遺跡の写真を紹介。 | ・パワーポイント使用                          | 経過: 15分 |
| 【ワークショップ編】<br>☆考古資料を用いたグループ学習<br>③縄文文化の道具を学ぶ<br>・4班に分かれる。<br>(土器: 1・2班、木製品: 3・4班)<br>・グループで資料を観察する。<br>・各自ワークシートにスケッチや観察メモを取り、わかったこと、気がついたこと等をワークシートに書き出す。     | ・資料の取扱方法(注意事項)を説明。<br>・観察のポイントを説明。   | ・資料の設定<br>・資料観察のサポート<br>・残り時間のアナウンス | 経過: 25分 |
| ④発表<br>・代表して、観察したことを発表する。                                                                                                                                      |                                      | ・2分×4班                              | 経過: 35分 |
| ⑤まとめ<br>・記入したワークシートを提出する。                                                                                                                                      | ・ワークシートの回収                           |                                     | 経過: 40分 |
| ☆授業終了                                                                                                                                                          | ・資料のかたづけ                             | ・ワークシートは後日返却                        | 経過: 50分 |

【目標の到達】 石狩紅葉山49号遺跡をとおり、縄文時代中期の石狩における人々の暮らしや道具について知ることができる。

表2. 紅南小学校における授業展開.

| 児童の活動                                                                                                                                             | 指導者(学芸員)の活動                          | 備考                                  | 経過時間    |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------|-------------------------------------|---------|
| ☆授業の開始<br>・グループ(6班に分かれる)                                                                                                                          | ・(自己紹介)                              | ・ワークシート事前配布                         | 経過: 5分  |
| 【講義編】<br>☆パワーポイントによる学習<br>①はじめに<br>・この授業のねらいと目標を理解する。<br>②石狩紅葉山49号遺跡とは<br>・遺跡の位置や時代を知る。<br>・発掘当時の写真から遺跡の様子を見る。                                    | ①授業のねらいと目標を説明。<br>②パワーポイントで遺跡の写真を紹介。 | ・パワーポイント使用                          | 経過: 13分 |
| 【ワークショップ編】<br>☆考古資料を用いたグループ学習<br>③縄文時代の道具を学ぶ<br>・6班に分かれる<br>(土器: 1・2班、石器: 3・4班、木の道具: 5・6班)<br>・グループで資料を観察する。<br>・気がついたことや思ったことなどをふせんに書いて用紙に貼っていく。 | ・資料観察の注意事項を説明。<br>・観察のポイントを説明。       | ・資料の設定<br>・資料観察のサポート<br>・残り時間のアナウンス | 経過: 25分 |
| ④発表<br>・観察して気がついたことを発表する。                                                                                                                         |                                      | ・各班から1名(1~6班)                       | 経過: 33分 |
| ⑤まとめ<br>・感想を記入し、提出する。                                                                                                                             | ・ワークシートの回収                           |                                     | 経過: 40分 |
| ☆授業終了                                                                                                                                             | ・資料のかたづけ                             | ・ワークシートは後日返却。                       | 経過: 45分 |

【目標の到達】 石狩紅葉山49号遺跡をとおり、縄文時代中期の石狩における人々の暮らしや道具について知ることができる。